

埼玉県公立高校入試について

1 公立高校入試変革

埼玉県公立高校入試では「高校再編」と「入試制度改革」が着実に進行し、2012年度(平成24年度)入試から入試回数が1回となりました。入試改革もいよいよ集大成といった感じですが、「受験者全員に学力検査を」という制度の確立は、入試自体が「学力重視」に向かってきたことを意味することは言うまでもありません。しかし、一方で、選抜方法の大きな変更(=相関表方式から加点方式へ)により、調査書の重要性も増しています。結果として、学力と内申のバランスが求められることになりました。日々の受験勉強が大切であることは言うまでもありませんが、公立高校の合格を勝ち取るためには、「公立入試は中学校1年生から」という認識をしっかりとって、学校生活を送らなければならないと言えるでしょう。

2003年度入試	調査書の「各教科の評定」が「相対評価」から「絶対評価」に移行
2004年度入試	通学区制度を廃止、「各教科の評定」に1年・2年・3年の評定を併記
2005年度入試	「推薦入試」「一般入試」を廃止し「前期募集」「後期募集」に変更 「地域推薦」の廃止と「地域選抜」の実施 各高校の「求める生徒像」公開と受験生の「自己PR書」作成 前期募集における「総合問題」の導入 後期募集における「学力検査点:調査書評定」の取り扱い上限を「7:3」に変更
2010年度入試	「求める生徒像」「自己PR書」「総合問題」「小論文」を廃止 前期募集 ■ 2月中旬に5教科学力検査(募集人員は定員の80%程度) 後期募集 ■ 3月上旬に3教科学力検査(募集人員は定員の20%程度)
2012年度入試	前期・後期制から学力検査一本化へ
2017年度入試	学力検査問題に関する変更 ■ 理科・社会の試験時間拡大(50分へ) + 英語・数学の学校選択問題導入

❖ 2017年度(平成29年度)埼玉県公立高校入試総括

1回入試となって6年目、全日制全体の最終実質倍率は1.19倍、普通科は1.21倍となりました。2012年度(平成24年度)入試以降、全体1.15倍→1.17倍→1.18倍→1.18倍→1.19倍→1.19倍、普通科1.15→1.19倍→1.20倍→1.20倍→1.22倍→1.21倍と推移し、不合格者数も全日制全体で5,906名→6,919名→7,082名→7,003名→7,559名→7,328名となっていますので、前期・後期制の頃に比べれば倍率が大幅に緩和されているとは言え、少し厳しい入試になったとも言えます。また、欠員補充数は2012年度(平成24年度)入試以降、27校361名→23校240名→26校451名→29校404名→26校380名→26校506名と推移し、その受験状況は、484名受験318名合格=1.52倍(最終欠員55名)→311名受験191名合格=1.63倍(最終欠員64名)→446名受験319名合格=1.40倍(最終欠員150名)→370名受験284名合格=1.30倍(最終欠員123名)→323名受験235名合格=1.37倍(最終欠員171名)→408名受験315名合格=1.30倍(最終欠員213名)となっています。不合格者数の増加にもかかわらず、最終欠員数が増加傾向にあるのは、欠員募集の受験まで進路決定を先延ばしにする精神的負担を避けたいという思いはもちろん、人気校・不人気校の格差が大きくなっているという事実を示唆しているのではないのでしょうか。公立1回入試は定着しましたが、「私立併願校選び」の重要性が増したことも間違いありません。

2 公立高校の入試制度

2018年度(平成30年度)入試

	一般募集
出願期間	2018年2月19日(月)・20日(火)
志願先変更期間	2018年2月22日(木)・23日(金)
選抜日程	2018年3月1日(木) 2018年3月2日(金)〈一部〉
合格発表	2018年3月9日(金)
選抜方法	5教科学力検査+調査書 特別実施項目 1) 傾斜配点 2) 面接・実技検査 3) 不登校生特別選抜 4) 帰国生特別選抜 5) 外国人特別選抜 昨年度変更点 1) 理社の試験時間=各50分 2) 英数=学校選択問題あり

2017年度(平成29年度)入試

	一般募集
出願期間	2017年2月20日(月)・21日(火)
志願先変更期間	2017年2月23日(木)・24日(金)
選抜日程	2017年3月2日(木) 2017年3月3日(金)〈一部〉
合格発表	2017年3月10日(金)
選抜方法	5教科学力検査+調査書 特別実施項目 1) 傾斜配点 2) 面接・実技検査 3) 不登校生特別選抜 4) 帰国生特別選抜 5) 外国人特別選抜 入試変更点 1) 理社の試験時間を50分に 2) 英数で学校選択問題導入

❖ 選抜方法と募集人員

選抜方法がいわゆる加算方式になり、募集人員以上の合格者を出す高校が多くなっています。全日制各高校の超過人数を合計すると592名(2017年度入試結果)にもなります。調査書点と学力検査点の合計得点で選抜しますので、同点の受験生を不合格にできないという事情があるのはもちろんですが、倍率の高い高校における「受け入れ枠への配慮」の指示もあるようです。

❖ 不登校の生徒を対象とした特別選抜について

全日制および定時制のすべての高校で実施されます。対象となるのは卒業見込みの生徒で、在学中学校長が該当すると認めた場合に、「自己申告書」を添付し出願します。第1次選抜において、学力検査の得点の合計と、調査書の学習の記録と出欠の記録以外の得点、その他の資料の得点及び自己申告書の内容により特別な選抜が行われます。全日制課程における実施状況は、以下のとおりです。

- 平成24年度一般募集 … 受験者327名、合格者240名、倍率1.36倍 ☞ 受検者の73.4%が合格
 - 平成25年度一般募集 … 受験者292名、合格者214名、倍率1.36倍 ☞ 受検者の73.3%が合格
 - 平成26年度一般募集 … 受験者326名、合格者250名、倍率1.30倍 ☞ 受検者の76.7%が合格
 - 平成27年度一般募集 … 受験者336名、合格者239名、倍率1.41倍 ☞ 受検者の71.1%が合格
 - 平成28年度一般募集 … 受験者316名、合格者239名、倍率1.32倍 ☞ 受検者の75.6%が合格
 - 平成29年度一般募集 … 受験者335名、合格者251名、倍率1.33倍 ☞ 受検者の74.9%が合格
- なお、定時制過程の特別選抜合格率は、平成27年度が94.0%、平成28年度が94.5%、平成29年度が88.9%となっており、全日制よりも定時制のほうが受かりやすくなっています。

選抜基準公表の例

この形式に沿って各学校の基準が決めますので、希望する学校の選抜基準には必ず目を通しましょう。

全日制 県立〇〇高等学校(普通科)

平成30年度入学者選抜

基本方針	<p>(1) 学力検査と調査書の記録については、学力検査を重視して選抜する。 (2) 調査書の「特別活動の記録」、特に部活動・生徒会活動に積極的に取り組んだ者の選抜に配慮する。 (3) 面接を実施し、受検生の意欲・態度・適性を積極的に評価する。</p>										
選抜資料	傾斜配点を実施する場合は、この部分に該当教科を記載しています。										
	○学力検査の扱い	1年:2年:3年 各学校で定めます [500点]								
	○調査書の扱い	学習の記録の得点 (1:1:2) (180点) 特別活動等の記録の得点 (50点) その他の項目の得点 (10点) [240点]								
	○その他の資料	面接 [30点]								
一般募集	●第1次選抜 (60%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 調査書の合計点に、各学校が定めた係数を乗じて②と⑥の換算点を算出します。										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>①学力検査</td> <td>②調査書</td> <td>③面接</td> <td>④合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>336点</td> <td>30点</td> <td>866点</td> </tr> </table>			①学力検査	②調査書	③面接	④合計	500点	336点	30点	866点
	①学力検査	②調査書	③面接	④合計							
500点	336点	30点	866点								
●第2次選抜 (30%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 面接等を実施しない場合は「その他」欄に「実施しない」と記載。											
調査書の扱いの詳細	●第3次選抜 (10%を入学許可候補者とする) 第〇次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、特別活動の記録の得点で選抜する。										
	【特別活動等の記録の得点 (50点)】 ○学級活動・生徒会活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員 区分B 委員会委員長、委員会副委員長、学校行事实行委員長 区分C 学級委員 区分D 学級係等その他評価できるもの ○部活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 全国大会出場 区分B 関東大会出場、県大会上位入賞、県選抜選手 区分C 県大会出場、地区選抜選手、格技有段者 区分D 郡市大会入賞、部長、副部長、3年間部活動継続										
	【その他の項目の得点 (10点)】 ○選択教科の学習の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○総合的な学習の時間の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○資格取得等 ※以下の資格を取得している場合に得点を与える。 英語検定・漢字検定・数学検定、TOEFL、TOEIC、珠算、硬筆・毛筆、囲碁・将棋、ワープロ検定など ○出欠の記録 ※出席状況が特に良好な場合に得点を与える。 ○地域のクラブ活動、ボランティア活動、数学オリンピック、英語スピーチコンテスト、海外派遣、表彰経歴										
その他	第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。 地域選抜を実施しないかわりに、地域に根ざした学校づくりの趣旨をいかに通学時間・距離を資料とすることができ ます。また、外国人特別選抜などに関する記述もここに記載されます。										

調査書様式

(様式1)

平成30年度入学志願者調査書

(様式2)

成績及び諸活動等の記録通知書

志願先	高等学校
-----	------

第3学年 2組 1番			ふりがな 生徒氏名			さいたま 埼玉			さいこ 彩子				
性別		女		生年月日		平成 14年 4月 15日生		卒業年月		平成 30年 3月 卒業見込			
1 各 教 科 の 学 習 の 記 録	教 科	評 定			2 選 択 教 科 の 学 習 の 記 録	学年	選択教科名	評定	3 総合的な 学習の時 間の記録 1学期は「京都奈良修学旅行および体育祭の取り組み」として班別行動計画作成などを行い、2学期は「合唱行事および進路学習の取り組み」において学習を進め、グループの学習に貢献することができた。				
		1年	2年	3年		1	保健体育	A					
	2	数学											
	国語	3	4	5		2	保健体育	A	4 特 別 活 動 等 の 記 録 学 級 活 動 1年 給食委員 2年 学級委員 3年 情報委員 生徒会 活動 学校 行事 H28 体育祭実行委員 H29 修学旅行実行委員 その他 剣道部 部長 剣道2段 H28 新人体育大会地区大会団体3位 H29 学校総合体育大会地区大会優勝 県大会ベスト4 関東大会出場				
		社会	3	4		5	3	社会					A
	数学	4	4	5		3	保健体育	A					
	理科									5 出欠の 記録 学年 欠席日数 欠席の主な理由 1 0 2 0 3 0			
		音楽	4	4		5							
	美術												
		体育	4	4		5							
	技家												
		英語	4	4		5							
	合計		34	35		43				6 その他 漢字検定2級/英語検定3級 H28 ゆめみの杯剣道大会団体戦準優勝 花と緑のボランティア参加 あしなが募金 校内合唱コンクール最優秀賞			
備考													

平成30年度埼玉県公立高等学校入学者選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。

【資料A】2018年度入試主要高校選抜基準①

※「↑」「↓」は平成29年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和	1	1	2	180	70	70	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
浦和第一女子	1	1	2	180	120	35	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和	1	1	3	225	95	95	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
春日部	1	2	4	315	100	85	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	39%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜				
蕨	1	1	3	225	100	10	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
浦和西	1	1	2	180	50	10	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	38%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	2%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
川口北	1	1	2	180	50	50	1次選抜	70%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	27%	500	240	-	740	68:32
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
越ヶ谷	1	1	3	225	80	↑20	1次選抜	60%	500	335	-	835	59:41
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
春日部東	1	1	3	225	94	16	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	15%	500	503	-	1003	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				
越谷南	1	1	2	180	70	15	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	334	-	834	60:40
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
川口市立(新)	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
与野	1	2	3	270	76	24	1次選抜	70%	500	370	-	870	57:43
							2次選抜	30%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
草加	1	1	3	225	60	20	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
杉戸	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				

【資料A】2018年度入試主要高校選抜基準②

※「↑」「↓」は平成29年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	400	-	900	56:44
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
川口	1	1	2	180	60	20	1次選抜	80%	500	350	30	880	59:41
							2次選抜	19%	500	600	30	1130	45:55
							3次選抜	1%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
越谷西	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
久喜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	450	-	950	53:47
							2次選抜	30%	500	350	-	850	59:41
							3次選抜	0%					
岩槻	1	1	2	180	40	20	1次選抜	70%	500	480	-	980	51:49
							2次選抜	30%	500	720	-	1220	41:59
							3次選抜	0%					
浦和東	1	1	3	225	125	100	1次選抜	80%	500	450	25	975	63:47
							2次選抜	19%	500	540	50	1090	48:52
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
草加東	1	1	3	225	80	45	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
越谷東	1	1	2	180	90	30	1次選抜	80%	500	360	-	860	58:42
							2次選抜	20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	0%					
三郷北	1	2	3	270	120	60	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	900	100	1500	36:64
							3次選抜	3%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
庄和	1	1	3	225	165	30	1次選抜	60%	500	504	50	1054	50:50
							2次選抜	30%	500	720	50	1270	41:59
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
川口東	1	1	3	225	40	20	1次選抜	80%	500	500	20	1020	50:50
							2次選抜	20%	500	345	20	865	59:41
							3次選抜	0%					
草加西	1	1	3	225	75	35	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	750	50	1300	40:60
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	80%	500	720	100	1320	41:59
							2次選抜	15%	500	400	200	1100	56:44
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					
川口青陵	2	2	3	315	100	35	1次選抜	70%	500	450	↓50	↓1000	53:47
							2次選抜	25%	500	↑675	↓100	↑1275	↓43:57↑
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
八潮	1	1	2	180	75	15	1次選抜	80%	500	540	100	1140	48:52
							2次選抜	12%	500	540	200	1240	48:52
							3次選抜	8%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
三郷	1	1	3	225	80	50	1次選抜	60%	500	355	100	955	58:42
							2次選抜	40%	500	568	150	1218	47:53
							3次選抜	0%					

【資料A】2018年度入試主要高校選抜基準③

※「↑」「↓」は平成29年度入試との比較を表しています。

理数科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	700	467	-	1167	60:40
							2次選抜	40%	700	300	-	1000	70:30
							3次選抜	0%					
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
川口市立(新)	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	700	468	-	1168	60:40
							2次選抜	40%	700	302	-	1002	70:30
							3次選抜	0%					

外国語科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
蕨	1	1	3	225	100	30	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
越谷南	1	1	2	180	60	30	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	400	-	1000	60:40
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	400	-	1000	60:40
							3次選抜	0%					
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				

人文学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部東	1	1	3	225	58	48	1次選抜	80%	800	535	-	1335	60:40
							2次選抜	20%	800	343	-	1143	70:30
							3次選抜	0%					

総合学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
久喜北陽	1	2	3	270	80	20	1次選抜	60%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
幸手桜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	60%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	30%	500	500	150	1150	50:50
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
吉川美南	1	2	3	270	70	60	1次選抜	↓70%	500	400	50	950	56:44
							2次選抜	↑25%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	↑5%	※3次復活=1次上位者を「特」「他」+通学距離				
戸田翔陽	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	500	400	1400	50:50
							2次選抜	30%	500	500	400	1400	50:50
							3次選抜	0%					

文理スポーツ	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
川口市立(新)	1	1	2	180	120	60	1次選抜	60%	500	360	50	910	58:42
							2次選抜	35%	500	500	100	1100	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				

【資料A】2018年度入試主要高校選抜基準④

※「↑」「↓」は平成29年度入試との比較を表しています。

総合技術	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
越谷総合技術	1	1	2	180	↑50	20	1次選抜	80%	500	500	50	1050	50:50
							2次選抜	20%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	0%					

看護科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
常盤	1	1	2	180	30	15	1次選抜	80%	500	334	20	854	60:40
							2次選抜	20%	500	215	20	735	70:30
							3次選抜	0%					

商業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和商业	1	1	2	180	40	30	1次選抜	80%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	20%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	0%					
岩槻商業	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	15%	500	250	100	850	67:33
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					

工業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部工業	1	1	3	225	110	40	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	20%	500	600	50	1150	45:55
							3次選抜	0%					
久喜工業	1	1	2	180	100	20	1次選抜	80%	500	600	60	1160	45:55
							2次選抜	20%	500	750	60	1310	40:60
							3次選抜	0%					
三郷工業技術	1	1	3	225	100	30	1次選抜	80%	500	497	100	1097	50:50
							2次選抜	20%	500	497	100	1097	50:50
							3次選抜	0%					
浦和工業	1	1	1	135	45	20	1次選抜	80%	500	400	100	1000	56:44
							2次選抜	20%	500	400	100	1000	56:44
							3次選抜	0%					
川口工業	1	1	1	135	100	30	1次選抜	80%	500	371	100	971	57:43
							2次選抜	20%	500	265	120	885	65:35
							3次選抜	0%					

農業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸農業	1	2	2	225	130	45	1次選抜	75%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	25%	500	500	100	1100	50:50
							3次選抜	0%					

音楽科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	実技	満点	
大宮光陵	1	1	3	225	15	10	1次選抜	80%	500	500	1000	2000	50:50
							2次選抜	20%	500	500	1000	2000	50:50
							3次選抜	0%					
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	75%	500	500	630	1630	50:50
							2次選抜	20%	500	500	765	1765	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「実技」選抜				

「調査書の評定」と「学力検査」

2005年度(平成17年度)入試より、「学力検査の得点」と「調査書の評定」の取り扱いは、それまでの4:6～6:4ではなく、3:7～7:3の範囲で学校・学科・コースごとに選べるようになりました。2010年度(平成22年度)入試以降の制度では、「学力検査の得点」に各高等学校で定める配点による「調査書の得点」および「実技検査等の得点」(実施する場合)を加えた合計得点で選抜しますが、その際、「学力検査」と「調査書」の配点比が、第1次選抜では4:6～6:4の範囲の値に、第2次選抜では3:7～7:3の範囲の値になるように決められていますので、各選抜段階において、いずれか一方を重視する制度は継続されています。公表された各高校の選抜基準の「選抜の基本方針」の欄には「学力検査」と「調査書」のどちらを重視するかが明記されていますが、多くの高校で第1次選抜6:4、第2次選抜7:3を採用していますので、学力重視傾向にあると言ってよいでしょう。

また、調査書の評定を3学年併記とする制度も継続されています。各学年評定の比重は高校、学科ごとの裁量で決められますが、例えば評定比率が1:1:3の高校の場合、 $45 \times 1 + 45 \times 1 + 45 \times 3 = 225$ 点満点となりますので、志望校の評定がどのようになっているかは必ず確認してください。自分の持ち点があまりにも低いと、受験する前から結果が見えてしまうということにもなりかねません。中3評定の比率を高くしている高校がほとんどですから、中3の1学期・2学期定期テストは、非常に大切なものとなります。

■調査書の評定

2010年度(平成22年度)入試からは、学力検査点以外も点数化される入試となりました。高校により違いはありますが、受験する前の「持ち点」となる調査書の点数が合否に大きな影響を及ぼすことは言うまでもありません。2018年度(平成30年度)入試の高校別選抜基準を見ても学力重視傾向にあり、加算方式導入時の2010年度(平成22年度)入試と比較しても、調査書の比率を下げている学校が多く見受けられます。

さて、ここで通知票の評定によって、どれくらい差が生じるのかを確認しておきましょう。評定の異なるA君～E君がいます。便宜上、それぞれが3年間同じ評定だったと仮定し、各高校の選抜基準に基づいて「学習の記録の得点」をそれぞれ算出してみると、下表のようになります。

		越谷北[1:1:2]		越ヶ谷[1:1:3]		越谷南[1:1:2]		草加[1:1:3]		越谷西[1:1:2]	
選抜段階		1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次
各学校の係数		1.24	0.80	1.03	0.66	1.26	1.26	1.10	1.64	1.50	3.00
A君	評定39	193	125	201	129	197	197	215	320	234	468
B君	評定36	179	115	185	119	181	181	198	295	216	432
C君	評定33	164	106	170	109	166	166	182	271	198	396
D君	評定30	149	96	155	99	151	151	165	246	180	360
E君	評定27	134	86	139	89	136	136	149	221	162	324
中3評定価値		2.48	1.60	3.09	1.98	2.52	2.52	3.30	4.92	3.00	6.00

評定値ではわずか3点ずつの差しかないように思うかもしれませんが、3年間の積み重ねに評定比率と係数を乗じると、こんなにも差が開いてしまうわけですね。上表の「中3評定価値」というのは、3年次の評定1ポイントあたりの得点です。学校の係数によって異なってきますが、学力検査の小問配点が2点～6点であることを鑑みれば、3年次の評定1ポイントは学力検査問題1問分となり、学力重視校では配点の低い記号問題、調査書重視校では配点の高い記述問題と同等の価値を有すると言えるのではないのでしょうか。また、オール4のB君とオール3のE君では、第1次選抜において50点前後の差が生じていますが、学力検査の各科目平均が50点前後ですので、E君はB君に対して約1教科分のハンデを背負って入試本番に臨むこととなります。この差は、学力検査で簡単に挽回できるというものではありません。やはり、**学力と調査書点のバランス**が受験生に求められるようになったということでしょう。

■その他項目の得点

「選択教科の学習の記録」「総合的な学習の時間の記録」などが評価の対象ですが、ここで最も大切なのは各種検定の「資格取得」でしょう。ただし、学校によって評価基準が異なりますので、志望校の選抜基準は確認しておかなければなりません。「特別活動の記録の得点」ほど大きな配点ではありませんが、それでも通知票の評定と同じく、自分の「持ち点」となるものですから、資格取得に向けた努力をすることは必要です。「どうせ合格できない」と最初から諦めるのではなく、「志望校合格への一歩」として積極的にチャレンジするようにしてください。

【資料B】主要高校の検定評価対象

	英語検定				漢字検定					数学検定				その他
	4	3	P2	2	4	3	P2	2	P1	4	3	P2	2	
浦和	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	数学オリンピック出場
大宮	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	
浦和一女	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
市立浦和	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	武道初段以上
春日部	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	数学オリンピック出場
蕨	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	剣道・柔道初段以上
越谷北	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
浦和西	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	
川口北	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
越ヶ谷	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
市立浦和南	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	新体力テストA
春日部東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
春日部女子	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
越谷南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
川口市立	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
草加	?	○	○	○	?	○	○	○	○	?	○	○	○	
杉戸	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
越谷西	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
草加南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	剣道・柔道初段以上
草加東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	剣道・空手初段以上
越谷東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	剣道・柔道初段以上
三郷北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毛筆検定4級以上
川口東	?	○	○	○	?	○	○	○	○	?	○	○	○	剣道・柔道段位
草加西	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	珠算・暗算3級以上
松伏	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
八潮南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・暗算検定
八潮	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	珠算1級以上
吉川美南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・暗算検定
三郷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	剣道・柔道初段以上

■学力検査

2010年度(平成22年度)から学力検査は100点満点になりました。県教育局によれば、「思考力、判断力、表現力などを、十分に把握できるよう配点に差を設け、学力検査の結果に反映させるため」とのこと。また、出題の基本方針に、「出題の内容、出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する」とありますが、実際に学力検査問題は基礎から応用まで幅広く出題され、記述問題を中心に構成されています。また、記述問題に対しては、県教委による「学力検査の採点の手引き」にあるように、部分点を設け点差が開くような工夫がなされています。参考までに、ここ6年間の平均点は以下のとおりです。記述問題の増加に加え、新学習指導要領に基づいた出題もあり、入試問題は全体的に難しくなっていますが、難問が多く、平均点も低いと、得点差がつきにくく、努力が報われない入試になってしまいます。そうすると、調査書評定が低い生徒には不利でしょう。2017年度(平成29年度)入試の学力検査に関する改善は、そのような課題への対策として評価できるかもしれません。

一般	国語	数学	英語	社会	理科	合計
24年度	59.7	36.5	44.1	48.7	49.0	237.9
25年度	65.6	42.4	53.7	50.3	63.4	275.5
26年度	64.0	45.0	45.0	49.5	46.1	249.6
27年度	56.0	48.1	55.6	50.3	49.5	259.1
28年度	57.9	51.1	57.4	63.7	39.2	269.4

2017年度(平成29年度)入試から実施された改善点

- 理科・社会の後半の問題に白紙解答が多い。
 ◎理科・社会の検査時間を3科と同じ50分に拡大する。
- 数学に極端に正答率の低い問題が多い。
 ◎英語・数学に進学校向けの「学校選択問題」を用意する。
 ◎共通問題から極端な難問を外し、基礎的な内容とする。

	学力検査問題					選択問題	
	国語	数学	英語	社会	理科	数学	英語
29年度	53.3	44.4	52.0	60.6	48.5	43.2	71.9

[分析①]社会が2年連続60点以上◎来年度は少し難しく!?

[分析②]選択問題英語70点以上◎来年度はかなり難しく!?

[分析③]数学が平均45点以上◎来年度は少し易しく!?

<「学校選択問題」を採用する高校>

浦和、浦和一女、市立浦和、浦和西、大宮、蕨、川口北、川越、川越女子、川越南、和光国際、所沢、所沢北、熊谷、熊谷女子、熊谷西、春日部、不動岡、越ヶ谷、越谷北(以上20校)

■学力検査点:調査書点

選抜方法が変更となった2010年度(平成22年度)入試においては、各学校とも手探りの状態だったので、全体的には例年よりも調査書のウエイトが大きかったと言えるかもしれません。しかし、絶対評価には疑問の声が多くあり、2011年度(平成23年度)入試以降の選抜基準を通覧しても、「学力重視への軌道修正」という印象を受けます。

ちなみに、2018年度(平成30年度)入試に関して、おもな普通科高校を分類してみると、以下のようになります。

2017年度入試第1次選抜			
学力:内申 = 6:4		学力:内申 = 5:5	
<input type="checkbox"/> 浦和	<input type="checkbox"/> 浦和一女	<input type="checkbox"/> 久喜	<input type="checkbox"/> 岩槻
<input type="checkbox"/> 大宮	<input type="checkbox"/> 市立浦和	<input type="checkbox"/> 三郷北	<input type="checkbox"/> 庄和
<input type="checkbox"/> 春日部	<input type="checkbox"/> 蕨	<input type="checkbox"/> 鷲宮	<input type="checkbox"/> 川口東
<input type="checkbox"/> 越谷北	<input type="checkbox"/> 浦和西	<input type="checkbox"/> 草加西	<input type="checkbox"/> 川口青陵
<input type="checkbox"/> 川口北	<input type="checkbox"/> 越ヶ谷	<input type="checkbox"/> 八潮	<input type="checkbox"/> 幸手桜
<input type="checkbox"/> 浦和南	<input type="checkbox"/> 春日部東	<input type="checkbox"/> 宮代	<input type="checkbox"/> 栗橋北彩
<input type="checkbox"/> 春日部女子	<input type="checkbox"/> 川口市立	<input type="checkbox"/> 岩槻北陵	<input type="checkbox"/> 戸田翔陽
<input type="checkbox"/> 越谷南	<input type="checkbox"/> 草加	学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 与野	<input type="checkbox"/> 南稜		
<input type="checkbox"/> 杉戸	<input type="checkbox"/> 越谷西	学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 川口	<input type="checkbox"/> 浦和東		
<input type="checkbox"/> 草加南	<input type="checkbox"/> 越谷東		
<input type="checkbox"/> 草加東	<input type="checkbox"/> 白岡	学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 八潮南	<input type="checkbox"/> 吉川美南		
<input type="checkbox"/> 三郷			
<input type="checkbox"/> 松伏			

◎

2017年度入試第2次選抜			
学力:内申 = 7:3		学力:内申 = 5:5	
<input type="checkbox"/> 浦和	<input type="checkbox"/> 浦和一女	<input type="checkbox"/> 春日部東	<input type="checkbox"/> 草加
<input type="checkbox"/> 大宮	<input type="checkbox"/> 市立浦和	<input type="checkbox"/> 川口	<input type="checkbox"/> 浦和東
<input type="checkbox"/> 春日部	<input type="checkbox"/> 蕨	<input type="checkbox"/> 草加東	<input type="checkbox"/> 越谷東
<input type="checkbox"/> 越谷北	<input type="checkbox"/> 浦和西	<input type="checkbox"/> 川口青陵	<input type="checkbox"/> 八潮
<input type="checkbox"/> 川口北	<input type="checkbox"/> 越ヶ谷	<input type="checkbox"/> 三郷	<input type="checkbox"/> 幸手桜
<input type="checkbox"/> 浦和南	<input type="checkbox"/> 川口市立	<input type="checkbox"/> 戸田翔陽	<input type="checkbox"/> 吉川美南
<input type="checkbox"/> 春日部女子	<input type="checkbox"/> 与野	学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 杉戸	<input type="checkbox"/> 草加南		
学力:内申 = 6:4		学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 越谷南	<input type="checkbox"/> 南稜	<input type="checkbox"/> 越谷西	<input type="checkbox"/> 岩槻
<input type="checkbox"/> 久喜	<input type="checkbox"/> 鷲宮	<input type="checkbox"/> 庄和	<input type="checkbox"/> 三郷北
<input type="checkbox"/> 川口東		<input type="checkbox"/> 草加西	<input type="checkbox"/> 白岡
<input type="checkbox"/> 松伏	<input type="checkbox"/> 八潮南	<input type="checkbox"/> 宮代	<input type="checkbox"/> 栗橋北彩
		<input type="checkbox"/> 岩槻北陵	

通学距離および通学時間

「地域に根ざした学校づくり」のため、第3次選抜で「通学距離および通学時間」を点数化する学校があります。

<「通学距離および通学時間」を選抜の資料とするおもな高校>

岩槻商業、岩槻北陵、春日部東(普)、栗橋北彩、越谷西、幸手桜、庄和、白岡、杉戸、松伏(普)、三郷北、宮代、八潮、吉川美南、鷺宮、川口市立(文理スポーツ)、市立浦和南など

面接試験・実技試験

2009年度(平成21年度)まで全校で実施されていた面接試験(または実技試験)は各高校の選択実施となり、実施の場合には点数化され合計の際に加算されます。なお、2018年度(平成30年度)入試における面接実施校は72校(昨年度74校)ですが、選抜基準を見ると、上位校(学力重視校)は面接を実施しない傾向にあり、普通科下位層や専門学科に面接採用校が集中していると言えそうです。面接試験＝人物評価として位置づけた結果だと思いますが、中には驚くほど高得点を配している高校もありますので注意してください。

普通科	1次選抜	2次選抜	3次選抜	専門学科	1次選抜	2次選抜	3次選抜
岩槻北陵	100	200	○	岩槻商業	100	100	○
浦和東	25	50	○	浦和工業	100	100	-
川口	30	30	○	大宮工業	100	100	-
川口青陵	↓50	↓100	○	大宮商業	50	50	-
川口東	20	20	-	春日部工業	50	50	-
栗橋北彩	200	200	○	川口工業	100	120	-
庄和	↑50	↑50	○	久喜工業	60	60	-
白岡	120	240	○	越谷総合技術	50	100	-
草加西	50	50	○	杉戸農業	100	100	-
鳩ヶ谷	50	40	○	常盤	20	20	-
松伏	100	200	○	三郷工業技術	100	100	-
三郷	100	150	-	八潮南(商・情)	50	70	-
三郷北	50	100	○	幸手桜	100	150	○
宮代	100	100	○	吉川美南	50	100	×
八潮	100	200	○	戸田翔陽	400	400	-
八潮南	50	70	-	○ … 3次選抜において面接結果が評価対象になる。			
鷺宮	100	100	○	× … 3次選抜において面接は評価対象にならない。			
川口市立(文理)	50	100	○	- … 3次選抜は実施されない。			

入試選抜方法イメージ

- 2018年度越谷西高校入学者選抜の場合 -

[第1次選抜] 募集人員の80%決定

⇒[学]500+[調]375

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

875点満点

[第2次選抜] 募集人員の15%決定

⇒[学]500+[調]750

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

1250点満点

[第3次選抜] 募集人員の5%決定

⇒第1次選抜一定順位者を対象

特別活動の記録	通学距離
---------	------

満点非公表

※「特別活動の記録」に特長があっても、第1次選抜で一定順位内に入らなければ、選抜の対象にはなりません。

募集人員と倍率

2009年度(平成21年度)まで高騰していた前期募集倍率は、2010年度(平成22年度)入試より、前期募集で8割程度を合格させることによって数値の上では大幅に緩和(2009年度平均倍率2.88倍・普通科3.78倍 → 2010年度平均倍率1.49倍・普通科1.65倍 → 2011年度平均倍率1.44倍・普通科1.53倍)、一方、後期募集は2010年度(平成22年度)以降厳しい入試となりました(2009年度平均倍率1.32倍・普通科1.34倍 → 2010年度平均倍率1.78倍・普通科1.79倍 → 2011年度平均倍率1.57倍・普通科1.57倍)。2012年度(平成24年度)入試から1回入試となり、この6年間の平均倍率は1.15倍 → 1.17倍 → 1.18倍 → 1.18倍 → 1.19倍 → 1.19倍、普通科倍率も1.15倍 → 1.19倍 → 1.20倍 → 1.20倍 → 1.22倍 → 1.21倍でしたので、問題視されていた高倍率状態は解消されたと言ってよいのではないのでしょうか。

1回入試となり、人気校・不人気校の差がはっきりしてきていることは前述しましたが、一方で、不景気や公立高校授業料無償化の影響でしょうか、「できれば公立高校へ」という受験から「どうしても公立高校へ」という受験に変わってきていることも否めません。その結果、いわゆる安全志向型の受験となる傾向があり、難関校(人気校)へチャレンジすることを避ける受験生が増えてきたようにも感じます。

【資料C】昨年度入試高倍率校

《普通科系》		《職業・芸術科系》	
01) 大宮[理数]	2.73倍	25) 越谷南	1.45倍
02) 所沢北[理数]	2.40倍	坂戸[外国語]	1.45倍
03) 市立大宮北[理数]	2.35倍	27) 越ヶ谷	1.44倍
04) 松山[理数]	2.15倍	28) 春日部	1.41倍
05) 市立浦和	1.97倍	所沢北	1.41倍
06) 和光国際[外国語]	1.94倍	市立浦和南	1.41倍
07) 蕨[外国語]	1.93倍	31) 浦和第一女子	1.40倍
08) 南稜[外国語]	1.68倍	32) 川口	1.36倍
09) 浦和西	1.66倍	市立大宮北	1.36倍
10) 越谷北[理数]	1.63倍	35) 不動岡	1.35倍
大宮	1.63倍	朝霞西	1.35倍
12) 市立大宮西	1.59倍	37) 浦和	1.34倍
13) 蕨	1.58倍	伊奈学園総合	1.34倍
川越女子	1.58倍	39) 上尾	1.33倍
市立川口総合	1.58倍	40) 与野	1.32倍
16) 川越南	1.57倍	本庄	1.32倍
17) 川越	1.54倍	42) 熊谷女子	1.31倍
18) 熊谷西[理数]	1.50倍	草加東	1.31倍
19) 川口北	1.48倍	44) 越谷北	1.30倍
不動岡[外国語]	1.48倍	春日部東	1.30倍
草加南[外国語]	1.48倍	所沢	1.30倍
22) 南稜	1.46倍	越谷西	1.30倍
市立県陽	1.46倍	岩槻[国際文化]	1.30倍
市立川越	1.46倍		
		01) 越谷総合技術[情報技術]	1.63倍
		02) 上尾[商業]	1.53倍
		03) 市立川越[国際経済]	1.51倍
		04) 鴻巣女子[家政科学]	1.43倍
		05) 川越工業[建築]	1.38倍
		06) 芸術総合[舞台芸術]	1.35倍
		07) 市立川越[情報処理]	1.31倍
		08) 新座総合技術[食物調理]	1.30倍
		常盤[看護]	1.30倍
		10) 川越工業[電気]	1.28倍
		熊谷工業[建築]	1.28倍
		12) 越谷総合技術[食物調理]	1.25倍
		13) 春日部工業[建築]	1.24倍
		14) 鴻巣女子[保育]	1.23倍
		浦和工業[情報技術]	1.23倍
		川越工業[デザイン]	1.23倍
		17) 杉戸農業[食品流通]	1.20倍
		18) 新座総合技術[デザイン]	1.18倍
		浦和商業[情報処理]	1.18倍
		20) 熊谷商業[商業]	1.16倍
		大宮東[体育]	1.16倍
		22) 芸術総合[映像芸術]	1.15倍
		芸術総合[美術]	1.15倍
		鳩ヶ谷[情報処理]	1.15倍

さて、上表から2017年度(平成29年度)入試を振り返ると、以下のことが言えます。

- ① 普通科系で1.5倍を超えた学校は2016年度入試の16校から18校に微増しました。＝人気校への集中傾向
- ② 普通科系では理数科・外国語科が、専門科系では情報技術・食物調理・建築の人気が上昇傾向です。
- ③ 普通科系、職業・芸術科系とも、上位5校は昨年度のランキングと変わらず、人気の定着がうかがえます。

【資料D】昨年度入試における倍率の推移-普通科の場合-

※○は前年比

普通科	募集人員	希望者数	倍率1 12/15	出願者数	倍率2 2/21	志願変更	倍率3 2/24	出願確定	取消欠席	定員超過	倍率4 3/10
浦和	0358	542	01.51	499	01.39	+1	01.40	500	-1	+12	01.35
大宮	0357	586	01.64	503	01.41	-3	01.40	500	-3	+13	01.34
浦和一女	397	541	01.36	540	01.36	-1	01.36	539	0	+8	01.33
市立浦和	240	542	02.26	410	01.71	-3	01.70	407	-4	+6	01.64
春日部	0397	418	01.05	513	01.29	-3	01.28	510	0	+1	01.28
蕨	318	721	02.27	531	01.67	-11	01.64	520	-1	+8	01.59
越谷北	357	508	01.42	438	01.23	-4	01.22	434	0	+2	01.21
浦和西	0397	684	01.72	641	01.61	-19	01.57	622	-2	+6	01.54
川口北	0397	489	01.23	474	01.19	+9	01.22	483	0	+1	01.21
越ヶ谷	0318	597	01.88	468	1.47	-16	01.42	452	0	+8	01.39
市立浦和南	320	608	01.90	497	01.55	-8	01.53	489	-1	+8	01.49
春日部東	318	410	01.29	425	1.34	+6	01.36	431	-2	+8	01.32
春日部女子	278	237	00.85	300	01.08	+9	01.11	309	0	+3	01.10
浦和北	0318	421	01.32	378	01.19	+11	1.22	389	-1	+8	1.19
市立川口	240	448	01.87	374	01.56	-10	01.52	364	0	+6	01.48
越谷南	357	518	01.45	438	01.23	0	01.23	438	-3	+10	01.19
与野	358	605	01.69	556	01.55	-10	01.53	546	0	+9	01.49
杉戸	318	370	01.16	379	01.19	-1	1.19	378	-1	+4	1.17
南稜	318	663	02.08	481	01.51	+3	01.52	484	0	+8	01.48
草加	358	516	01.44	486	01.36	-9	01.33	477	0	+9	01.30
越谷西	318	345	01.08	305	00.96	+26	01.04	331	0	+2	01.03
川口	0358	447	01.25	445	01.24	-3	01.23	442	-1	+9	01.20
久喜	278	244	00.88	316	01.14	+8	01.17	324	0	+6	01.14
岩槻	278	294	01.06	332	01.19	-8	01.17	324	0	+3	01.15
浦和東	0318	393	01.24	407	01.28	-8	01.25	399	-1	+8	01.22
草加南	238	365	01.53	355	01.49	-22	01.40	333	0	+8	01.35
市立県陽	0120	185	01.54	191	01.59	-1	01.58	190	0	+3	01.54
越谷東	278	289	01.04	332	01.19	-12	01.15	320	0	+4	01.13
大宮東	238	289	01.21	256	01.08	+7	1.11	263	-1	+4	01.08
草加東	318	439	01.38	386	01.21	+9	01.24	395	-1	+10	01.20
庄和	199	169	00.85	198	00.99	+5	01.02	203	0	+1	01.02
鷺宮	278	343	1.23	345	01.24	0	01.24	345	0	+26	01.13
川口東	318	343	01.08	358	1.13	+5	1.14	363	-2	+5	1.12
三郷北	278	294	01.06	286	01.03	+10	01.06	296	0	0	01.06
松伏	118	136	01.15	119	01.01	+6	01.06	125	0	0	01.06
白岡	159	146	0.92	151	00.95	+12	01.03	163	0	0	01.08
川口青陵	278	328	01.18	325	01.17	-2	01.16	323	-2	+5	01.14
草加西	238	275	01.16	270	01.13	+2	01.14	272	0	+3	01.13
宮代	238	248	01.04	265	01.11	-8	01.08	257	-1	0	01.08
八潮	159	121	00.76	160	01.01	+11	01.08	171	0	0	01.08
八潮南	79	105	01.33	94	01.19	-1	01.18	93	0	+2	01.15
三郷	238	205	00.86	258	01.08	-3	01.07	255	-1	0	01.07
栗橋北彩	238	194	00.82	246	01.03	+2	1.04	248	-2	0	01.03
岩槻北陵	198	139	00.70	157	00.79	+20	00.89	177	0	-22	1.01

【資料D】昨年度入試における倍率の推移-専門学科の場合-

専門学科		募集	希望	倍率1 12/15	出願	倍率2 2/21	変更	倍率3 2/24	確定	欠席	超過	倍率4 3/10
大宮	理数	40	92	02.30	104	02.60	-4	02.50	100	-3	+2	02.31
越谷北	理数	40	47	01.18	70	01.75	-2	01.70	68	0	+1	01.66
市立大宮北	理数	40	82	02.05	94	02.35	-3	02.28	91	-2	+1	02.17
蕨	外国語	40	67	01.68	68	01.70	-2	01.65	66	0	+1	01.61
春日部女子	外国語	40	41	01.03	73	01.83	-5	01.70	68	0	+1	01.66
越谷南	外国語	40	45	01.13	41	01.03	+6	01.18	47	0	+1	1.15
南稜	外国語	40	52	01.30	77	01.93	-9	01.70	68	0	+1	01.66
草加南	外国語	40	44	01.10	52	01.30	+2	01.35	54	0	+1	01.32
春日部東	人文	40	37	00.93	60	01.50	-2	01.45	58	0	+1	01.41
川口総合	総合	160	303	01.89	261	01.63	-5	01.60	256	-1	+4	01.55
幸手桜	総合	239	159	00.67	235	00.98	+6	00.99	241	-1	0	1.00
吉川美南	総合	119	174	01.46	133	01.12	+15	01.24	148	0	+6	01.18
常盤	看護	80	102	01.28	84	01.05	0	01.05	84	0	0	01.05
越谷総技	電子機械	79	53	00.67	53	00.67	+3	00.71	56	-1	-16	00.87
	情報技術	40	78	01.95	62	01.55	-2	01.50	60	0	+1	01.46
	流通経済	39	30	00.75	31	00.78	+1	00.80	32	0	-8	1.00
	情報処理	40	29	00.73	32	00.80	+1	00.83	33	0	-5	00.94
	服飾デザイン	40	43	01.08	41	01.03	0	01.03	41	0	0	01.03
	食物調理	40	66	01.69	37	00.95	+1	00.97	38	0	-1	01.00
三郷工技	機械	80	59	00.74	66	00.83	+10	00.95	76	0	-3	00.99
	電子機械	40	32	00.80	36	00.90	+2	00.95	38	-1	-2	00.97
	電気	39	28	00.72	38	00.97	+1	01.00	39	0	0	01.00
	情報技術	40	38	00.95	33	00.83	0	00.83	33	-1	-6	00.94
	情報電子	40	43	01.08	45	01.13	-1	01.10	44	0	0	01.10
春日部工業	機械	79	108	01.37	82	01.04	0	01.04	82	0	0	01.04
	建築	80	121	01.51	92	01.15	+2	01.18	94	-2	+2	01.12
	電気	80	81	01.01	84	01.05	-1	01.04	83	0	0	01.04
浦和工業	電気	80	42	00.53	72	00.90	+7	00.99	79	0	0	00.99
	機械	80	91	01.15	83	01.05	-3	01.01	80	0	0	01.01
	設備システム	40	47	01.18	43	01.08	0	01.08	43	0	0	01.08
	情報技術	40	51	01.28	56	01.40	-3	01.33	53	0	+1	01.29
川口工業	機械	80	87	01.09	96	01.20	-3	01.16	93	0	+1	01.15
	電気	79	33	00.42	55	00.70	+12	00.85	67	0	0	00.85
	情報通信	80	62	00.78	89	01.11	0	1.11	89	0	+1	01.10
杉戸農業	生物生産技	40	85	02.13	62	01.55	-2	01.50	60	-1	+1	01.44
	園芸	40	52	01.30	42	01.05	+2	01.10	44	0	0	01.10
	造園	39	27	00.69	31	00.79	+4	00.90	35	0	0	00.90
	食品流通	40	52	01.30	43	01.08	+1	01.10	44	0	0	01.10
	生活技術	40	41	01.03	48	01.20	-2	01.15	46	0	0	01.15
	生物生産工	40	26	00.65	46	01.15	-3	01.08	43	0	0	01.08
岩槻商業	商業	119	114	00.96	128	01.08	0	01.08	128	0	0	01.08
	情報処理	80	62	00.78	79	00.99	-1	00.98	78	0	0	00.98
八潮南	商業	80	62	00.78	92	01.15	-5	01.09	87	-1	+1	01.06
	情報処理	80	74	00.93	87	01.09	-3	01.05	84	0	0	01.05

3 公立高校の試み

特 色	おもな学校
単位制	浦和, 浦和北, 市立浦和南, 久喜北陽, 栗橋北彩, 越ヶ谷, 誠和福祉, 不動岡, 幸手桜, 戸田翔陽, 吉川美南, 芸術総合 ※伊奈学園総合=総合選択制
二期制	浦和工業, 浦和一女, 大宮, 川口北, 栗橋北彩, 越ヶ谷, 不動岡, 蕨, 常盤, 芸術総合
授業時間変更	浦和一女(65分), 大宮(65分), 春日部(65分), 川越女子(65分), 越ヶ谷(65分), 不動岡(65分), 蕨(65分), 春日部東(55分), 川口北(55分), 市立浦和南(55分)
7時間授業実施	市立浦和(週1回8時限), 川越(週2回), 久喜(週2回, 特進週4回), 久喜北陽(週2回), 越谷北(週2回), 杉戸(週2回)
隔週土曜日授業	浦和, 浦和一女, 浦和西, 市立浦和, 大宮, 市立大宮北, 川越, 川越女子, 越谷北, 春日部, 春日部女子, 不動岡, 川口北
特進クラス設置	春日部東(人文科=私立文系特進), 久喜, 八潮(特伸クラス)
中高一貫教育	伊奈学園総合, 市立浦和 ➡市立大宮西「中等教育学校」に完全移行(平成31年度)
5年一貫教育	常盤=高校(看護科)3年間+看護専攻科2年間
高大連携教育	<input type="checkbox"/> 浦和一女=放課後に埼玉大学講義聴講(単位認定) <input type="checkbox"/> 浦和西=放課後に埼玉大学講義聴講(単位認定) <input type="checkbox"/> 浦和北=埼玉大学大学院理工学研究科夏季インターンシップ(実験, ロボット学習) <input type="checkbox"/> 大宮北(理数科)=埼玉大学名誉教授をアドバイザーとし, 土曜日に研究者の特別講義 <input type="checkbox"/> 川口北=埼玉大学の高大連携講座聴講
専門教育連携	<input type="checkbox"/> 川口=川口市立看護専門学校(講義聴講, 単位認定)「彩の国アカデミー」 <input type="checkbox"/> 川口工業=川口商工会議所「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」 <input type="checkbox"/> 川口東=川口市立戸塚綾瀬小学校へ先生のアシスタントとして希望者を派遣 <input type="checkbox"/> 越谷総合技術=「基本情報技術者試験」(国家試験)午前試験免除認定校 <input type="checkbox"/> 草加西=草加かがやき特別支援草加分校併設
文科省指定校	■スーパー・サイエンス・ハイスクール =春日部(27年度), 大宮北(28年度) ■スーパー・グローバル・ハイスクール =浦和(26年度), 不動岡(27年度), 浦和一女(28年度) ■スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール =常盤(26年度)

2018年度(平成30年度)入試変更点

- ① 新規開校 川口市立高校=市立川口+市立川口総合+市立県陽
- ② 募集停止 市立大宮西➡中等教育学校への再編整備のため
- ③ コース改編 白岡➡情報コミュニケーションコースを廃止し、普通科に改編
- ④ 募集人員増 大宮東(普)[240⇒280], 川口青陵[280⇒320], 蕨(普)[320⇒360], 市立浦和[320⇒360], 市立大宮北(普)[280⇒320]
- ⑤ 募集人員減 浦和第一女子[400⇒360], 浦和西[400⇒360], 大宮(普)[360⇒320], 春日部[400⇒360], 川口[360⇒320], 川口北[400⇒360], 川口東[320⇒280], 越谷北[360⇒320], 松伏(情)[80⇒40], 宮代[240⇒200], 鷲宮[280⇒240]
- ⑥ 選抜法変更 川口青陵➡3次選抜復活+配点変更, 吉川美南➡3次選抜復活

首都圏私立高校入試について

1 私立高校入試概況

首都圏の私立高校入試は、埼玉県公立高校の入試制度改革と密接に関連しながら推移しています。埼玉県私立高校の場合、埼玉県公立高校の前期・後期制への移行と同時に、従来の推薦入試(1月22日～)・一般入試(2月1日～)という入試区分が、前期入試(1月22日～)・後期入試(2月10日～)という区分に変更されました。しかし、当初から後期入試は形骸化し、2018年度(平成30年度)入試に関する埼玉県私立中学高等学校協会の申し合わせでも、1月22日を「入学者選抜の開始日」として規定するにとどまっています。千葉県私立高校の前期選抜は1月17日、東京都私立高校の単願推薦および都外生対象の併願推薦も、例年どおり1月22日に開始となりますので、2018年度(平成30年度)私立高校入試も「1月入試」が中心と言えるでしょう。

埼玉県私立高校

【前期入試】1月22日～

【後期入試】規定なし ➡公立高校の合格発表後に入試を設定する学校もあります。

東京都私立高校

【推薦入試】1月22日～ ➡この期間に実施される「併願推薦」は都外生対象の入試です。

【併願優遇】2月10日～ ➡都内生を対象とした入試です。

【一般入試】2月10日～

千葉県私立高校

【前期選抜】1月17日～ ➡募集人員の割合を見ても、前期中心の入試となっています。

【後期選抜】2月5日～

埼玉県公立高校入試が2012年度(平成24年度)入試から3月初旬に1回だけの実施となり、公立中学校側からも入試遅延化の要請があるようですが、隣接都県の私立高校入試日程と絡む問題ですので、容易には実現できないと思われます。既に埼玉県私立高校の入試解禁日は1月22日に定められましたが、入試遅延化の要請は、そもそも公立中学校の3学期授業時間の確保が目的ですので、公立高校の入試だけが3月にずれ込んでも、あまり効果はありません。現状では、私立高校入試＝1月下旬、公立高校入試＝3月初旬と、2月は埼玉県内の大部分の受験生にとって入試のない期間となり、入試が間延びしてしまう感も否めません。この期間、受験生にとってはモチベーションをいかに維持するかが課題となるでしょう。

2 私立高校の入試制度

➤ 推薦入試 ◀

■ 単願

私立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格したらすぐに入学手続きをしなければなりません。

■ 併願

公立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格発表後、公立高校の入試結果が判明するまで、入学手続きを保留できます。ただし、延納手続きが必要な場合もありますので、ご注意ください。

併願(推薦)は単願(推薦)よりも推薦基準が高く、一般的に試験内容も難しくなっています。また、単願(推薦)、併願(推薦)とも定員を超えた場合や当日の点数が極端に低い場合には不合格になりますので、いずれの推薦においても、100パーセント合格できるという保証は原則ありません。したがって、たとえ推薦入試であっても他の私立高校を受験したり、同じ高校のスライド合格制度(下位のコースへの合格)などを利用する必要があります。

埼玉県では、単願・併願とも1月中に入試が実施されます。東京都私立高校の推薦入試や千葉県私立高校の前期選抜も1月に実施されています。したがって、受験生は1月中に合格校を確保するつもりでなければいけません。2月入試まで視野に入れるのは、慶應義塾志木、立教新座などの最難関校や推薦制度のない高校の一般入試を受験したり、1月中に合格を確保できなかった併願校を再受験したりする場合に限られるでしょう。なお、推薦基準(受験の目安)にまったく届かない場合、通知票に「1」がある場合、欠席日数が著しく多い場合などは、一般入試しか受験させてもらえないという可能性もありますのでご注意ください。

【2018年度入試における私立高校延納手続条件】

＜延納手続きを必要としない埼玉県内高校＞

開智、開智未来、春日部共栄、川越東、秀明英光、淑徳与野、城北埼玉、西武台、星野、細田学園

＜延納手続きを必要とする埼玉県内高校＞ ※()内は延納手続金の額

浦和学院(¥10,000)、浦和実業(¥20,000)、浦和麗明(¥10,000)、叡明(¥10,000)、大宮開成(¥5,000)、埼玉栄(¥10,000)、栄北(¥10,000)、栄東(¥20,000)、昌平(¥10,000)、西武学園文理(¥20,000)、獨協埼玉(¥30,000)、花咲徳栄(¥10,000)、武南(¥20,000)

※東京都内の私立高校の併願推薦では延納手続金はかかりません。他県でも延納手続金不要の高校が増えています。

学校説明会・個別相談

推薦入試と切り離すことができないのが「個別相談」です。従来、中学校の先生と私立高校との間で行われた「入試相談」は1998年度(平成11年度)入試で解消されました。そのため、現在ほとんどの私立高校で、推薦の目安や合格の可能性を保護者・受験生と直接相談する機会が設定されています。単願も併願も、推薦入試はこの「個別相談」をしないと受験することができません。最近では「確約」に近い言葉を用いる学校もありますので、受験する可能性がある場合は必ず参加してください。なお、個別相談＝面接試験という意味合いもありますので、しつたりとした服装・態度で臨むことが大切です。また、「学校説明会」はその学校を知る絶好の機会ですので、こちらも忘れずに参加しておきましょう。

➤ 一般入試 ◀

当日の試験結果のみで合否を判定するのが一般入試です。最難関校や併願推薦制度を持たない高校は一般入試を受験することになります。それ以外の私立高校は単願や併願の推薦枠でほとんどの生徒を募集してしまいますから、一般入試の募集枠は少なく、簡単には合格できません。したがって、私立高校の一般入試を受験する場合には、必ず複数の高校を受験する必要があります。

私立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校

■ 第1志望校と同程度の高校および実力相応の高校(併願推薦を含む) …………… 2～3校

公立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校と同程度の高校(併願推薦を含む) …………… 1～2校

■ 実力相応の高校(併願推薦入試) …………… 1～2校

【資料E】主要私立高校2018年度推薦基準一覧①

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願					
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差		
埼玉県	浦和学院	共	グローバル			40	64			42	66	
			T特			40	68			42	69	
			S特		20		63		22			65
			特進		20		58		22			60
			文理選抜		18	33	54		19	34		56
			文理進学		17	31	51		18	32		53
			保健医療		17	30	52		18	31		54
			総合進学		16	29	48		17	30		50
	アート		16	28	50		17	30		52		
	浦和実業学園	共	特進選抜		21	38	61		22	40	63	
			特進		19	34	58		21	38	61	
			選抜α		17	32	55		19	35	58	
			選抜		16	31	53		17	33	56	
			進学		15	28	50		16	31	54	
	総合進学・情報進学		13	23	47		15	28	50			
	浦和ルーテル	共	普通			30	60			32	62	
	浦和麗明	共	特選Ⅰ類		20	35	58		21	36	60	
			特選Ⅱ類		19	34	56		20	35	58	
			特進Ⅰ類		18	33	54		19	34	56	
			特進Ⅱ類		17	31	51		18	33	53	
			進学				29	48			31	50
			保育進学				28	47			30	49
	叡明	共	特別選抜	13	22		61	14	23		63	
			特別進学Ⅰ類	13	20		58	14	21		60	
			特別進学Ⅱ類	12	29		56	13	20		58	
			進学Ⅰ類	11	18		53	12	19		55	
			進学Ⅱ類	10	17		51	11	18		53	
進学Ⅲ類					28	49	10	17	32	51		
情報科					29	48	10	17	31	49		
大宮開成	共	特進選抜先進		23		69		23		70		
		特進選抜Ⅰ類		22		66		22		67		
		特進選抜Ⅱ類		21		64		21		65		
		特進S		20		62		20		63		
開智	共	Tコース				71				72		
		Sコース				67				70		
		Dコース			40	64			40	67		
春日部共栄	共	選抜				67				70		
		特進E系				64				67		
		特進S系				60				64		
埼玉栄	共	α				65				66		
		S				61				63		
		特進				55				58		
		保健体育				50				55		
栄北	共	特類選抜		22		64		23		66		
		特類		20		61		21		63		
		Ⅱ類		18		58		19		60		
		Ⅰ類		16		55		17		57		
栄東	共	東・医			36	70			36	72		
		アルファ			36	68			36	70		
秀明英光	共	特別進学			27	-			29	-		
		国際英語			26	-			27	-		
		総合進学			23	-			24	-		
淑徳与野	女	選抜A				69.5				70.5		
		選抜B				69.0				70.0		
		選抜C				68.0				69.0		
		S類				65.5				-		

【資料E】主要私立高校2018年度推薦基準一覧②

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願				
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差	
埼玉県	昌平	共	T特選				68			70	
			特選				65			67	
			特進アスリート		22	40	63		23	41	65
			特進		21	39	62		22	40	64
			選抜・選抜アスリート		20	37	60		21	38	62
	獨協埼玉	共	普通		36	63			38	66	
	花咲徳栄	共	理数選抜・特別選抜		21		62		23		65
			文理選抜		20	36	58		21	38	61
			選抜進学		18	31	55		20	36	58
			特別進学・食育実践(単のみ)		17	30	53		19	33	56
			総合進学		16	29	51		18	31	54
	武南	共	特進		20		66		20		67
			選抜				62				63
			進学		18		57		19		59
	東京都ほか	足立学園	男	探究		23		63		24	
文理					20		58		22		60
総合					18		54		20		56
岩倉		共	S特	13	21		60	13	21		62
			特進	11	18		56	11	19		58
			総進	9	15	29	-	10	16	30	-
			運輸	10		30	-	11		31	-
上野学園		共	特別進学α		21		58		22		60
			特別進学β		18		54		19		56
			総合進学	10	16	28	47	11	17	29	49
北豊島		女	特進	11	17		58	11	17	32	58
			総合	9		26	50	9	15	26	50
			国際英語	英4			英57	英4		28	英57
共栄学園		共	特進		20		60		21		62
			普通		17		51		18		53
京華	男	S特進		23		65		24		67	
		特進	12	20		60	13	21		62	
		進学	10	17		56	11	18		58	
京華商業	共	商業	9		25	-	10		27	-	
京華女子	女	特進	12	20		60	13	21		62	
		文理	10	16	28	53	11	17	29	55	
駒込	共	理系先進・国際教養	14			70	14			72	
		スーパーアドバンス	14	22		64	15	23		68	
		アドバンスA	12	20	35	60	13	21	36	64	
桜丘	共	特待クラス		22		62		22		62	
		特進クラス・CLクラス		20		56		21		58	
順天	共	理数選抜		23		65		24		67	
		英語選抜		22		63		23		65	
		特進選抜		22		63		23		65	
潤徳女子	女	特別進学	11	18		54	12	20		56	
		総合進学	9		26	46	10		28	48	
		美術デザイン			26	46			28	48	
東京成徳大学	共	特別進学		22		62		23		64	
		進学選抜		19		57		20		60	
		進学		17		54		18		56	
文京学院大学女子	女	理数・国際教養(Tクラス)	12	20		56	12	20		58	
		理数・国際教養(Aクラス)	10	17		50	10	17		52	
武蔵野	共	特進ステージ	10	17	29	48	11	18	30	49	
		進学ステージ	8	13	24	43	9	14	25	44	
西武台千葉	共	特選		19	37	62		20	38	63	
		進学		16	30	53		18	33	56	

➤ 特待生制度 ◀

「私立高校に魅力は感じるが、経済的負担を考えると… 特待制度を活用できないか？」というお声は毎年聞かれます。確かに、特待生になれば、公立高校と大差ない学費で、3年間理想的な学習環境に身を置くことができますね。実際のところ、少子化や不景気の影響で、私立高校側も特待生制度や奨学生制度の拡充を図っています。しかしながら、特待生ともなれば、常に成績上位にいなければなりませんし、最難関大学への合格も期待されますので、進学に対するしっかりとした目的意識が必要になることは言うまでもありません。そして、何よりその基準(目安)はかなり高く、偏差値70近い受験生でないと、特待生にチャレンジすることが難しいというのが現状です。

ただ、以下の学校は「狙い目」というか、検討の価値があるといつてよいのではないのでしょうか。比較的基準が低く、学校自体もしっかりしているので、ご興味があれば、ぜひ相談に出向いてみてください。

浦和麗明	【奨学生 I】 入学金・授業料・施設設備費・環境維持費給付 ➡ 進級時継続審査 [基準] 単願60・併願62(9月以降の北辰偏差値2回平均)で、欠席10日以内
上野学園	【特待S】 入学金・施設設備資金免除+授業料月額1万円のみ(年間12万円) [基準] 単願65・併願65(9月以降の北辰偏差値, 併願は2回以上)で、入試成績90%
北豊島	【特別奨学生A】 入学金・授業料3年間分・施設費5万円(総額1,468,000円) [基準] 評定3科13以上かつ9科40以上(評定に1,2がないこと)
潤徳女子	【学力特待 I 種】 入学金・施設費・授業料全額免除+単願なら教育充実費半額免除 [基準] 単願=評定5科21 or 北辰 偏差5科58, 併願=評定5科22 or 北辰偏差5科60
武蔵野	【特待S】 入学金全額免除+年間39万(授業料1年分)を原則3年間給付 [基準] 単願=評定3科12 or 北辰 偏差3科53, 併願=評定3科13 or 北辰偏差3科57

どれもマインズ生にとっては、通学エリア内にある学校です。例えば、潤徳女子高等学校を見ると、偏差値60(併願)で学力特待 I 種の資格をもらえるわけですが、偏差値60と言えば越ヶ谷高校や春日部東高校に合格するかしないかというレベルですので、これら公立高校の併願校として検討してみてもよいかもしれません。単願にすれば、基準はさらに下がり、越谷南高校や春日部女子高校との比較検討対象になります。あくまでも私見ですが、大学受験を考えた場合、公立高校であれば予備校通いがほぼ必須… 特待生であれば「学校の期待の星」として、予備校に通わずとも手厚いケアを受けることができます。プレッシャーとモチベーション維持という苦労はありますが、どちらがよいかは歴然としているのではないのでしょうか。

3 2018年度入試における私立高校の主な変更点

2018年度(平成30年度)私立高校入試における変更点は以下のとおりです。ここ数年見られた男女共学化・新校舎建設・中学校新設などのブームも落ち着きを見せ始めていますが、一方では、不景気や公立高校授業料無償化の影響で募集に苦慮する私学が増えています。そのような中、各私立高校はそれぞれの特色を出すために、コース改変や完全中高一貫化(=高校募集停止)等によるレベルアップを図ってきています。

(1) 2017年度入試

学校名	変更内容
浦和学院	■ I 類改編 [リーダーズ・サイエンス・プログレス・アブソルート⇄T特・S特・特進]
浦和麗明	■ 男女共学化 ■ 調理パティシエコース募集停止
足立学園	■ 学科改編 [文理科・普通科⇄普通(探究・文理・総合)] ■ 推薦試験を小論文に変更
千代田女学園	■ 校名変更⇄「武蔵野大学附属千代田高等学院」(共学クラス新設)
中村	■ 高校募集再開⇄国際科のみ(定員20名、1年間の留学が必須)
日体桜華	■ 校名変更⇄「日本体育大学桜華」
日本橋女学館	■ 校名変更⇄「開智日本橋学園」(高校募集は帰国生のみとなります)
三田国際学園	■ 高校募集停止(帰国生のみ募集継続)
和洋九段女子	■ 高校募集再開⇄グローバルコースのみ(調査書・英検書類審査・面接で合否判定)
麗澤	■ コース改編 [文理・特進⇄叡智特選・叡智スーパー特進]
法政大女子	■ 男女共学化 ■ 校名変更⇄「法政大国際」

(2) 2017年度入試までの大きな動き

学校名	変更内容
細田学園	■ 食物科募集停止
駒込	■ 国際教養コース・理系先進コース新設
法政大学第二	■ 男女共学化
叡明	■ 校名変更 ■ 校地移転
栄北	■ 自動車科募集停止
栄東	■ アドバンスコース募集停止
淑徳与野	■ 校地移転=さいたま新都心駅近くの淑徳与野中学校隣接地へ
花咲徳栄	■ 学科改編 [食物科⇄食育実践科(文科省「スーパー食育スクール」指定)]
岩倉	■ コース改編 [機械科・商業科募集停止] ■ 男女共学化
麹町学園女子	■ 高校募集再開⇄東洋大学への進学を前提とした「東洋大学グローバルコース」
芝浦工大	■ 校名変更⇄芝浦工業大学附属 ■ 校地移転⇄板橋から江東区豊洲へ移転、女子クラスを新設し男女別学に移行
東洋大京北	■ 校名変更 ■ 校地移転=北区赤羽から文京区白山へ ■ 男女共学化
三田国際学園	■ 校名変更(戸板女子より) ■ 男女共学化
安田学園	■ 男女共学化
東邦大東邦	■ 高校募集停止

主要私立高校併願入試日程[男子]

※偏差値は平成27年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	浦和 大宮	17 市川				29 栄東(特待)
69			栄東		川越東(特待) 栄東	
68						
67	市立浦和 春日部					
66	蕨 不動岡					
65	越谷北 浦和西	18 芝浦工大柏	開智 川越東 獨協埼玉 順天 城北埼玉 淑徳	開智 獨協埼玉 城北埼玉	開智 淑徳	25 川越東 25 順天
64		17 専修大松戸				
63						
62	川口北 越ヶ谷	17 麗澤				
61	大宮北 浦和南			大宮開成	大宮開成	
60			春日部共栄	桜丘(特待)	春日部共栄	
59						
58	春日部東 川口市立		武蔵野大附	武蔵野大附		
57	越谷南 与野 浦和北	17 流通経済大柏	開智未来 淑徳巣鴨 浦和ルーテル 昌平 東洋京北	開智未来 武南 昌平		25 開智未来 25 武南
56						
55	草加 杉戸 南陵	17 二松學舎大柏	駒込 足立学園 郁文館 桜丘 埼玉栄 栄北 成立学園 東京成徳大	駒込 埼玉栄 栄北		25 埼玉栄
54					成立学園	
53	大宮南 川口	17 西武台千葉				
52	越谷西 草加南					
51	久喜北陽 岩槻					
50	浦和東 草加東		細田学園 叡明 共栄学園 浦和実業 花咲徳栄 上野学園 修徳	京華 細田学園 叡明 西武台 浦和実業 花咲徳栄	叡明 西武台 浦和実業	29 花咲徳栄
49						
48	大宮東 越谷東		浦和学院 駿台学園	浦和学院 駿台学園	浦和学院	
47	三郷北 鷺宮					
46	庄和 川口東					
45	草加西		浦和麗明 岩倉	京華商業 浦和麗明		
44						
43	松伏 白岡 八潮南 川口青陵		国際学院 武蔵野	国際学院		
42		17 我孫子二階堂	関東第一	秀明英光	秀明英光	
41						
40	栗橋北彩 八潮 幸手桜 吉川美南 三郷 宮代 岩槻北陵					

- ① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校＋公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校
 ② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

主要私立高校併願入試日程[女子]

※偏差値は平成26年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	大宮 浦和一女	17 市川				29 栄東(特待)
69			栄東		栄東	
68	市立浦和					
67				淑徳与野		
66		17 専修大松戸				
65	蕨 不動岡 越谷北		開智	開智	開智	
64	浦和西		獨協埼玉 順天 淑徳	獨協埼玉	淑徳	25 順天
63				江戸川女子		
62	川口北 越ヶ谷	17 麗澤		大宮開成	大宮開成	
61						
60	浦和南 大宮北		春日部共栄 日大豊山女子	桜丘(特待)	春日部共栄	
59			駒込 開智未来	駒込 開智未来		25 開智未来
58	春日部東 越谷南 春日部女子	17 流通経済大柏	東洋大京北 十文字 浦和ルーテル			25 十文字 25 武南
57	川口市立 与野 浦和北			武南		
56	草加		昌平 淑徳巣鴨 桜丘	昌平		
55	杉戸	17 二松學舎大柏	東京家政大 埼玉栄 栄北	東京家政大 埼玉栄 栄北		25 埼玉栄
54	南陵	17 和洋国府台	成立学園 郁文館		成立学園	
53	川口	17 西武台千葉	東京成徳大	文京学院大	文京学院大	
52	大宮南 越谷西		武蔵野大附 共栄学園	武蔵野大附		
51	久喜 久喜北陽 草加南		細田学園 東洋女子	細田学園		
50	岩槻		叡明 京華女子	叡明 京華女子	叡明	
49	浦和東 草加東		浦和実業 駿台学園	浦和実業 西武台 駿台	浦和実業 西武台	29 花咲徳栄
48			花咲徳栄 岩倉 北豊島 神田女	花咲徳栄 京華商業		
47	越谷東 大宮東 鷺宮		浦和学院 潤徳 上野学園 修徳	浦和学院	浦和学院	
46	三郷北 庄和			愛国		
45	草加西 川口東					
44	白岡 松伏		浦和麗明 国際学院	浦和麗明 国際学院		
43			瀧野川女子 武蔵野	瀧野川女子	瀧野川女子	
42	八潮南 川口青陵	17 我孫子二階堂	村田女子 淑徳SC	村田女子		
41	栗橋北彩 八潮 宮代 吉川美南		安部学院	秀明英光	秀明英光	
40	幸手桜 三郷 岩槻北陵					

① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校+公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校

② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

【資料F】埼玉県内主要高校の現役進学率(平成28年3月卒業者)

	[私立高校現役進学率=74.7%]			[公立高校現役進学率=50.0%]		
	私立高校	大短進学率	国公立進学	公立高校	大短進学率	国公立進学
01	早稲田大学本庄	99.7%	0名	春日部女子	89.5%	17名
02	慶應義塾志木	98.0%	0名	越ヶ谷	86.8%	14名
03	淑徳与野	90.8%	41名	市立浦和南	85.5%	14名
04	星野	90.2%	46名	春日部東	84.8%	8名
05	立教新座	88.6%	9名	浦和西	84.6%	48名
06	大宮開成	86.5%	63名	蕨	83.9%	71名
07	浦和学院	85.7%	7名	越谷北	83.5%	77名
08	獨協埼玉	84.7%	12名	川口北	83.4%	30名
09	開智未来	84.0%	16名	越谷南	81.9%	15名
10	埼玉栄	81.2%	10名	市立浦和	81.6%	80名
11	昌平	80.9%	29名	市立大宮北	80.4%	7名
12	栄北	78.6%	8名	杉戸	80.1%	10名
13	浦和ルーテル学院	77.6%	1名	浦和北	79.9%	5名
14	浦和明の星女子	77.1%	34名	与野	77.5%	4名
15	開智	75.4%	118名	不動岡	77.1%	68名
16	花咲徳栄	73.5%	9名	伊奈学園総合	77.0%	25名
17	武南	73.4%	26名	市立大宮西	76.9%	2名
18	浦和実業学園	72.9%	9名	市立川口	75.8%	5名
19	栄東	70.7%	134名	草加	74.8%	2名
20	国際学院	70.2%	0名	大宮南	74.4%	2名
21	川越東	69.6%	38名	浦和第一女子	74.0%	74名
22	春日部共栄	66.9%	34名	大宮	73.9%	126名
23	西武台	66.5%	3名	久喜	72.5%	1名
24	細田学園	64.0%	0名	越谷西	70.1%	1名
25	秀明英光	57.9%	3名	市立県陽	66.0%	0名
26	城北埼玉	55.9%	18名	浦和東	63.7%	0名
27	叡明	43.4%	1名	南稜	61.8%	3名
28	浦和麗明	35.5%	2名	岩槻	59.0%	0名

上表は、埼玉県内でマイズ生の通学可能圏内にある私立高校・公立高校を中心とした、平成28年3月卒業生の「大学・短大現役進学率」および「国公立大学現役進学者数」をランキング形式でまとめたものです。現役合格がすべてではありませんが、学校選びの指標にはなるかと存じますので、参考にしてください。

毎年この時期は東京大学の合格者数が話題となりますが、2016年春は浦和高校の合格実績が関心を集めました。東大合格者数で長年埼玉トップに君臨していた同校、昨年は22名で、栄東の27名を下回ったのです。埼玉公立トップの座はかろうじて守りましたが、これについても、浦和は22名のうち現役は4名、現役合格者数では、13名中6名が現役の大宮に負けていました。今年も浦和高校が巻き返し、浦和32名(現役13名)、開智18名(現役14名)、栄東15名(現役14名)となったようです。ちなみに、浦和高校の平成28年3月卒業生現役進学率は32.2%… 大宮開成や昌平なども含め、埼玉私学の躍進がめざましい中、公立の浦和高校がいつまでトップの座を守れるのか、見守っていききたいものです。

それにしても、現役進学率だけで言うと、公立と私立の差はあまり感じませんね。有名大学合格者数はだいぶ違いますが…

私立高校授業料減免制度

1 就学支援金

2010年4月から正式に「公立高校授業料無償化」がスタートし、公立高校においては、授業料を徴収しないことになりました。私立高校に通う場合でも、「就学支援金」として、公立高校の場合と同額の国費補助を受けることができます。こうした国の動きを受け、私立高校の授業料負担も、世帯収入に応じて軽減あるいは実質無償化する自治体も出てきました。ただ、この私立高校授業料減免制度は、それぞれの都や県によって対象や助成額が異なりますので注意が必要です。なお、ご存知のとおり、当該制度は2014年4月から変更され、いわゆる「所得制限」が設けられました。新制度では、「市町村住民税所得割額」が304,200円（年収910万円程度）未満の世帯に対して、支給されることになっています。

【就学支援金新制度概要】

	公立進学者	私立進学者
年収250万円未満	¥118,800支給	¥297,000支給
年収350万円未満	¥118,800支給	¥237,600支給
年収590万円未満	¥118,800支給	¥178,200支給
年収910万円未満	¥118,800支給	¥118,800支給
年収910万円以上	支給対象外	支給対象外

こうした制度変更の動きは、「低所得世帯の私立高校授業料負担軽減」が目的であると言われるように、確かに、以下のようになり厚くなりました。

□年収250万円未満 = ¥237,600 [旧制度] から ¥297,000 へ
 □年収350万円未満 = ¥178,200 [旧制度] から ¥237,600 へ
 □年収590万円未満 = ¥118,800 [旧制度] から ¥178,200 へ
 ちなみに、この「就学支援金」は、学校設置者（都道府県や学校法人）が受け取り、該当者の授業料に充てることになっています。生徒本人や保護者が直接受け取るものではありません。

2 埼玉県私立高等学校等父母負担軽減事業補助制度

埼玉県では、埼玉県内の私立高校に通学する生徒の経済的負担を軽減するため、県の単独補助として、授業料軽減補助および入学金軽減補助を実施しています。

《対象》 県内の私立高校生（生徒・保護者とも県内居住）

《条件》 世帯年収が609万円未満の家庭

なお、埼玉県の補助制度についても、平成29年度から補助内容が拡大され、授業料が実質無償となる区分が変わることになりました。

【埼玉県の補助制度概要】

	授業料	入学金	施設費
年収250万円未満	¥78,000	¥100,000	¥200,000
年収350万円未満	¥137,400	¥100,000	¥200,000
年収500万円未満	¥196,800	¥100,000	¥200,000
年収590万円未満	¥196,800	¥100,000	対象外
年収609万円未満	¥256,200	¥100,000	対象外
年収609万円以上	対象外	対象外	対象外

太枠内が平成29年度より増額となった部分です。授業料補助は国の就学支援金と合わせて¥375,000となりますが、これは埼玉県内の私立高校授業料の平均値とされています。この値が上限となり、授業料がそれを下回る場合は、「授業料－就学支援金」で補助額が算定されます。

これにより、公私間の学費格差は大幅に改善されたと言えますが、県外私立に進学した場合は対象外となるため、不公平感は否めません。

なお、埼玉県の生徒が、千葉県の私立高校に進学することになった場合は、千葉県の授業料減免制度を申請することができます。

【千葉県の補助制度概要】

	私立進学者への授業料補助
年収350万円未満	授業料－就学支援金＝補助額
年収640万円未満	授業料2/3－就学支援金＝補助額
年収640万円以上	就学支援金のみで県の補助はなし

3 駒込高校授業料減免制度

東京都の授業料減免制度は、対象が都内生に限られるため、埼玉県生が東京都の私立高校に進学する場合、減免制度を利用することはできません。が、唯一、駒込高校が、他県在住の生徒のために、学校独自の授業料減免制度を打ち出しています。

【駒込高校の補助制度概要】

	駒込高校生への授業料補助
年収760万円未満	授業料－就学支援金＝補助額

当該制度は、**単願受験対象**で1クラス分という人数制限がありますが、駒込高校は受験者数も合格実績も伸びている人気校ですので、学力レベルが合っていれば、検討する価値は大いにあると思います。

2018年度・高校

さあ、いよいよ受験シーズンです。この期間は受験勉強はもちろん、出願準備、入学試験、手続といろいろ忙しくなりま

〔2018年1月～2月〕

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
1	2	3	4	5	6	7
		マインズ冬期講習				
8	9	10	11	12	13	14
	学校始業式	3学期開講			土曜特訓講座	
15	16	17	18	19	20	21
		千葉県私立前期入試			土曜特訓講座	英語検定③
22	23	24	25	26	27	28
埼玉県・東京都私立前期(推薦)入試						北辰テスト⑧
私立高校単願の生徒は「中学総復習」&「高校準備学習」をスタートします					漢字検定③	
					土曜特訓講座	
29	30	31	2/1	2	3	4
					土曜特訓講座	
5	6	7	8	9	10	11
					東京都私立一般入試	
					土曜特訓講座	

入試スケジュール

すので、しっかりと体調管理をしてください。

[2018年2月～3月]

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
12	13	14	15	16	17	18
					数学検定③ 土曜特訓講座	
19	20	21	22	23	24	25
公立入試出願期間			志願先変更期間			
		倍率チェック	受検番号報告		公立直前特訓	英検2次③ 公立直前特訓
26	27	28	3/1 [休講]	2 [休講]	3	4
			公立学力検査	面接(一部)		
公立直前特訓	公立直前特訓	公立直前特訓		自己採点指導		
5	6	7	8	9 [休講]	10	11
				公立合格発表		
高校英語・高校数学予習指導期間				合否報告!		
12	13	14	15 [休講]	16	17	18
			中学校卒業式			
高校英語・高校数学予習指導期間						
19	20	21	22	23	マインズ高校講座 4月開講	
				2017年度終了		
高校英語・高校数学予習指導期間						